



■待望の発電所「3号機」建設決定！

6年前の3月11日、東北地方太平洋沖地震により、東京電力福島第一原子力発電所は人類史上最大の原子力災害を引き起こしました。多くの方が仕事をなくし、故郷をなくし、今もなお苦しみ続けています。原発関連死は6年経った今日でも増加しているのです（5年後で3400人越え）。

震災・原発事故をきっかけに、各地で新しい取り組みが起こりました。ここ川崎でも「原発なくしたい」「原発に代わる発電所を自ら作りたい」そして「原発の無い世の中を目指そう」という人々が仲間になりだしたのは2014年の年明けからです。再生可能エネルギーである太陽光を利用した発電所1号機が完成したのは一年後の2015年1月の事でした。その8カ月後には発電所2号機も完成しました。

震災翌年の2012年7月から再生可能エネルギーによって生み出された電気を好条件で買い取る制度が開始されました。固定価格買取制度（通称FIT）により20年間は固定した価格で売電することが出来ます。この制度によって、全国で市民発電所が生まれました。しかし、年を経るごとにFIT価格は下がり続け、小規模な発電所では事業採算性が確保できない状況になっています。

放射線被害を過小評価し、原発の安全性は確保されていると大宣伝し、多くの反対を押し切り再稼働が始まっています。ドイツ・ベルギー・スイスなどは福島原発事故後、早々に脱原発路線を取ります。最近では台湾が脱原発法を可決しました。日本は遅れていますが、当NPO法人は多くの人脈の協力のもと、やっと発電所3号機建設計画を前に進めることが出来ました。

横浜市鶴見区にある「うしおだ診療所[※]」の屋根に3号機を建設します

太陽光パネルを48枚並べ、無償で降りそそぐ太陽光を12.96kwの電気に変えます。被災時には非常電源として利用できる設計です。

普通の発電所は、化石燃料を利用してタービンを回し、電気を生み出します。原子力発電所も電気を生み出しますが、ひとたび事故が起きれば、健康を奪い、故郷を奪い、生きがいも人々のつながりさえ奪ってしまいます。私たちの発電所は、太陽光から電気を生み出します。電気を生み出すだけではなく、人々のつながりも作ってきました。

待望の3号機建設計画は、まだ、始まったばかりです。これから、原発の無い社会を願う多くの人々が発電所建設をきっかけに仲間になっていけると期待しています。

（※施設紹介は次月号）

3号機予定「うしおだ診療所」



副理事長 田中 哲男



■4月から生活クラブエナジーへ売電決定！

2016年4月から電気の小売が全面自由化され、一般家庭においても電力会社を自由に選べるようになりました。みんなが再生可能な自然エネルギーの電気を選べば、原発に依存しない社会を実現することができるのです。そのためには、市民発電所も原発由来の電気を供給する電力会社ではなく、自然エネルギーを中心とした電気を供給する新電力会社に売電することが望ましいと考えます。原発フリーの電気を使いたいという人が増えれば、自然エネルギー由来の電源開発を行う発電事業者・小売事業者が連携して、自然エネルギーによる電気の発電量・供給量を増やすことが必要になります。

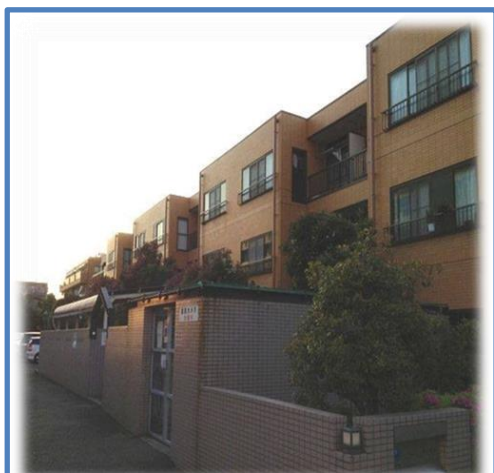
当NPO法人も、かねてより生活クラブ生協の子会社である(株)生活クラブエナジー(※4ページ「活動紹介コーナー」参照)と売電についての協議を行ってきた結果、ようやく電力受給契約の締結を済ませ、2017年4月から(株)生活クラブエナジーに売電することが決まりました。昨年、当法人の川岸理事長が生活クラブ生協の「キララ賞」を受賞したご縁もありますが、何よりも生活クラブ生協のエネルギー政策に関する考え方や方針が当法人のめざすところと基本的に同じというのが、売電先として選んだ大きな理由です。

生活クラブ生協は、1986年のチェルノブイリ原発事故以来、「脱原発」運動を行ってきましたが、2011年の福島原発事故以降、これまで以上に脱原発社会をめざした運動・事業に取り組んでいます。自前の事業所や店舗等に太陽光発電施設を建設する一方、風力、バイオマス、小水力、地熱等のベース電源を開発し、エネルギーの自給・自治を進めています。

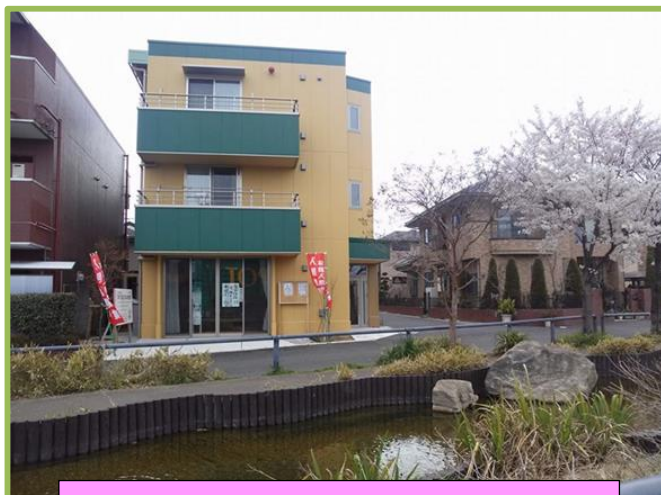
また、(株)生活クラブエナジーは市民発電所(すべて太陽光発電)からも電源調達をしています。東京都内ではエコメッセ発電所1号機とこ दौरソーラー2~4号機、神奈川県内では大磯エネソフトみんなの発電所「ハル」「ソラ」から、電気の買取りを2016年4月より開始しています。当法人の原発ゼロ市民共同かわさき発電所「1号機」・「2号機」も今年の4月から新たに加わることになり、川崎市内では初となります。念願の脱東電、脱原発にむけての一步です。

「原発ゼロ」を願う者として、市民発電所に関わる者として、一人でも多くの人に自然エネルギーの電気を選んでもらえるよう、身近なところから働きかけていきたいと思ひます。

理事 石村 早苗



発電所1号機(中原区)メゾンドボナール
太陽光パネル100枚 出力25kW



発電所2号機(高津区)COCOせせらぎ
太陽光パネル66枚 出力16.5kW



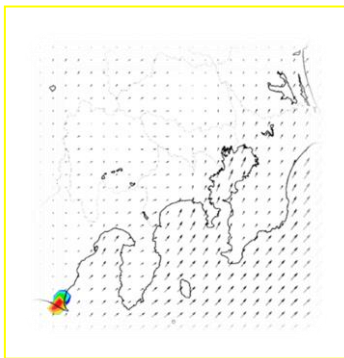
■3/24 学習会「ザ・浜岡原発事故」開催します

昨年6月から学習会を重ねてきて、そのまとめ学習会を開催します。浜岡原発事故が起きたら、神奈川・川崎はどうなるのか？「知らなかった！」では遅すぎる。今知らなければ、手遅れに。ぜひ参加して、一緒に議論しませんか。

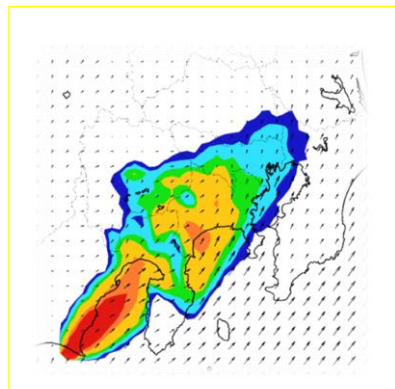


あなたは、どこに逃げる？
だれと？ どうやって？

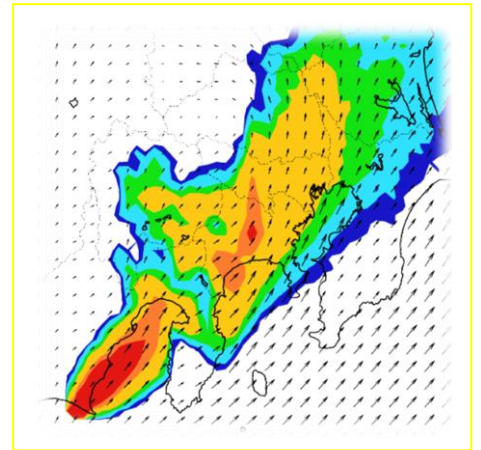
1時間後



7時間後



17時間後



上の図は、浜岡原発2号機がメルトダウンを起こしたと想定して、放射能が首都圏を直撃することをシミュレーションしたものです。

日時は2002年8月9日。出典元は「ストップ！浜岡原発」ホームページより。

副理事長 加藤 伸子

日時：2017年3月24日（金）18：30～

場所：高津市民館 12階 第5会議室 定員50名

内容：安全じゃない浜岡原発！神奈川の危険！ 入場無料

主催：NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所



自然エネルギーを用具に人と自然が中心の持続可能な未来社会をつくる。

(株)生活クラブエナジー 代表取締役 半澤 彰浩



生活クラブ風車「夢風」1周年記念式典
秋田県にかほ市 2013/8/24

3.11 東日本大震災・(株)東京電力福島原発事故から丸 6 年を迎えようとしています。何も解決されていないのにこの国の政府は原発をエネルギー政策の柱としており、しかも原発推進のため託送料に原発の廃炉費用を上乗せし全国民負担させようとしています。滅茶苦茶なことです。このようになると自由化で新電力に切り替えた人も廃炉費用分で電気代が上がりざるを得ませんし、そもそも国と電力会社がやってきた原発の費用を支払うのはどう考えてもオカシイです。私たちはもっと怒らなくていけないと思います。

生活クラブ生協では 1986 年のチェルノブイリ原発事故で 8000 km も離れた日本の私たちの消費材から放射能が検出された時から「脱原発」運動をすすめてきました。そして、生活に必要な「食」、介護や子育てなど福祉サービスの「ケア」に加え、「エネルギー」についても、組合員の暮らしに欠かせない材として考えエネルギーを自治することを決めました。人と自然が共生していく社会をめざして「エネルギーを減らす、つくる、使う」の 3 つを柱としたエネルギー政策を策定し、これにもとづいて自然エネルギーを選択して使うことを具体化するため、全国 32 の生活クラブが出資し、(株)生活クラブエナジーを 2014 年 10 月に設立しました。生活クラブのエネルギー基本政策の柱は「脱原発」「エネルギーの自給(自治)」「CO2削減」です。これらを組合員、提携生産者、市民の方たちとともに進めていくことが設立の主旨です。

(株)生活クラブエナジーの事業は「省エネ事業」「電力の供給」「自然エネルギーの電源開発」「自然エネルギーファンド事業の推進」の 4 つです。2015 年度からスタートした「生活クラブでんき」の供給事業は今年度、自前の自然エネ発電所 12MW、供給総量を 3500 万KWh の予定です。電源構成の開示をしており自然エネルギー電源構成は約 60%~90% となっております。全国の市民共同発電所との需給契約もしています。また省エネ=発電ですのでとても大事だと考え、省エネを標榜する電力会社でありたいです。省エネと自然エネルギー中心の電気を供給することで利用者(組合員)と生産者(自然エネルギー発電者)を結び、実質的な脱原発の世界、持続可能なオルタナティブな未来社会をつくることをすすめていきたいと思っています。

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

【編集後記】

「3号機」決定に続き、「脱東電」の念願が叶い、当法人一同よろこんでおります。ご尽力いただいた方々に感謝申し上げます。20年前から生活クラブ生協の組合員として活動してきた私にとって、生活クラブエナジーに売電できることになったことは嬉しい限りです。より一層参加を広げていけるだろうと思うと夢が膨らみます。(加藤伸子)

